

普及だより

第154号

発行

八重山農林水産振興センター
農業改良普及課沖縄県石垣市真栄里438-1
TEL 0980-82-3497 Fax 82-4142

与那国駐在

TEL 080-8579-7516

八重山から 指導農業士 認定!



認定式

那覇市で開催予定だった「令和3年度沖縄県農業士等認定式」が新型コロナウイルスの感染拡大により中止となり、八重山地区で認定式を開催しました。

八重山地区から指導農業士1名が誕生し、青年農業士3名、指導農業士25名、女性農業士6名、計34名となりました。



マンゴー施設内



マンゴー研究会現地検討



県マンゴーコンテスト



指導農業士

羽地 功氏

(石垣市:マンゴー)

JAおきなわ八重山地区マンゴー生産部会に所属し、化学合成農薬、化学肥料の3割以上の減に取り組むための技術を導入し、エコファーマーの認定を受けています。

また、マンゴー研究会に所属し、現在副会長として若手会員の育成に尽力されています。

県マンゴーコンテスト優良賞を3度受賞するなど、その農業技術は地域においても高い水準にあります。

(担当:舞木)

カボチャの葉枯れ対策

八重山地域では、着果後の低温や強風雨時にカボチャの葉が一斉に枯れてしまう被害が見られることがあります。これには気象、土壌、施肥、品種、病害などが複合的に関与しています。ほ場に合わせた対策を組み合わせ、**気象要因に負けない株づくり**を行い、**収穫まで20枚以上の葉を残しましょう。**

① <土づくり>

pHが低い、砂地など地力が低い、排水不良等のほ場では、始め葉脈間に細かい斑点症状(Mn欠乏)が見られ、次第に葉縁が内側に巻き、強風雨時に5~10葉が一気に枯れ上がる場合があります。**pHを改良(目標:6~7)し、堆肥を投入して地力を高め、排水対策を確実に**行いましょう。



酸性ほ場で見られる葉枯れ症状

② <防風垣・敷草>

細菌病は降雨時の土はねなどにより水分を介して植物体に付着します。しかし自力では植物に浸入できず、気孔・水孔のほか、植物体表面の細かい傷から浸入して増殖します。冬期の季節風から株を保護し、土が直接触れないよう、**防風垣と敷草をしっかりと準備**しましょう。また株元のマルチ被覆は保温効果もあり、低温時の根の動きを止めないためにも効果的です。



適正な防風垣と敷草



着果期の要素欠乏による葉枯れ症状

③ <着果期の施肥・灌水>

品種や施肥内容によっては、地上部の生育が旺盛で根の伸長が追いつかず、果実肥大期に肥料吸収が不足して急激に下葉が枯れることがあります。苗の活着までは十分に灌水し、その後は窒素や水分過多にならないよう注意して葉柄を低く抑えつつ根を深く広く張らせましょう。**着果確認後は確実に追肥を行い、微量要素を含む液肥の葉面散布と合わせて、2週間は肥料と水を切らさないよう管理**しましょう。



褐斑細菌病による葉枯れ



腐敗病による果実の軟化

④ <病害予防>

果実肥大期に低温や強風雨が連続すると、軟腐細菌病などが急激に蔓延し、ひどい場合はつる先の数葉を残し数日で枯れ上がることがあります。他にも褐斑細菌病や斑点細菌病、腐敗病などの細菌病による被害が年々増加傾向にあります。細菌病の登録農薬である**銅剤(Zボルドー、コサイド3000)**は発症後からの散布では効果がやや低い**ため着果前からの予防散布が有効**です。

① つるが倒れる前(薬害注意)

(例: Zボルドー2000倍+クレフノン添加)

② つるが倒れてから着果前まで

(例: Zボルドー500倍)の防除を行いましょう。

(担当:山口)



軟腐細菌病などによる葉枯れ症状

表1 軟腐細菌病に対するコサイド3000の効果

薬剤散布時期	発病株率 (%)	発病度 ※	枯死株率 (%)
病原接種前(発症前)	13.3	0.8	0.0
病徴発現後(発症後)	60.0	6.1	20.0
薬剤散布なし	93.3	9.6	53.3

沖縄県植防協会単独試験結果(2016年度)引用

※各区15株の発病程度を0~4の5段階で評価し加算した値

草地更新について

八重山地域は10年以上も更新をしていない草地が散見されています。このような草地では、土壌の劣化や裸地発生による雑草の侵入と拡大、収量や栄養価の低下が懸念されます。草地更新は収量増産、雑草防除および土壌の物理性改善が見込まれる技術です。令和元年5月に更新した草地では、更新から2年経過した後も増産傾向にあることが分かりました。現在3年目の収量について調査をしています。草地更新を行うことの重要性について今後も調査を続けていきます。

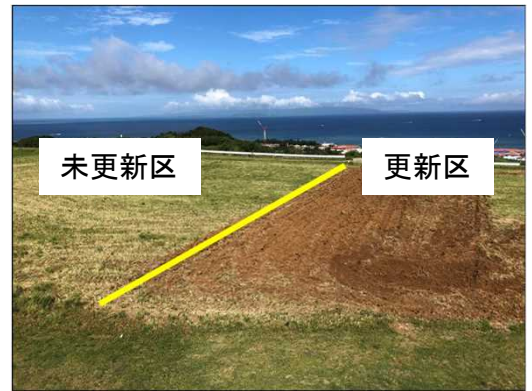


表 10aあたりのロールの個数(238kg/個)

	1番草	2番草	3番草	4番草	6番草	7番草	8番草	計
対照区	3.1	1.2	1.5	1.4	3.7	2.0	2.0	14.9
更新区	1.6	2.2	1.6	2.4	4.0	3.2	2.2	17.2

八重山地域でよく見られる雑草



アワユキセンダングサ



ネズミノオ



ギシギシ

雑草が繁茂している草地では、これ以上拡大しないように早期の防除が必要です。アワユキセンダングサの種子は衣類に付着して容易に拡大します。ネズミノオは放牧地で多く見られ、放牧牛が食べて糞便を排出することで徐々に広がります。ギシギシは1株あたり約2万粒の種子を形成します。いずれも穂が出る前に除草剤による防除を行いましょ。その際は、草地(農地)で登録されている農薬を使いましょ。それ以外の使用は農薬取締法違反です。農薬使用には使用用途や分量に注意を払い、適切な草地管理を行いましょ。

寒地型牧草について



イタリアンライグラス

沖縄県では冬場の安定的な飼料確保のために寒地型牧草栽培を普及推進しています。寒地型牧草は平均気温が20℃を下回る北海道～九州地方にかけて栽培されています。八重山地域では気温が低下し、既存の暖地型牧草の生育が遅れる11月頃からイタリアンライグラスの播種が有効です。「さちあおば」「きららワセ」「Kyushu1」「ヤヨイワセ」が県の奨励品種に指定されています。飼料価格が高騰する中で、冬場の自給飼料の確保と安定生産のために寒地型牧草を活用してはどうでしょうか。詳しくは普及課担当までお問い合わせください。

(担当:長坂)

マンゴー安定生産のためのヒント

マンゴーを連年安定生産するためのポイントの1つとして、**適期管理**があります。**なんとなく管理**していると、安定生産は難しくなります。生育ステージごとの**計画的管理**を実現するために、次のことを実践しましょう。

- ① 栽培暦や、栽培マニュアル等を活用し、管理の**基準軸**を持つ。
- ② 定期的に**栽培記録**と基準を照らしあわせ、**問題点**と管理作業の**ペース**を確認する。
- ③ **改善策**を含めた新しい**管理計画**を立て、**適期**に**実施**する。



旅に例えると

✓ 地図・コンパスがある

✓ 現在地がわかる

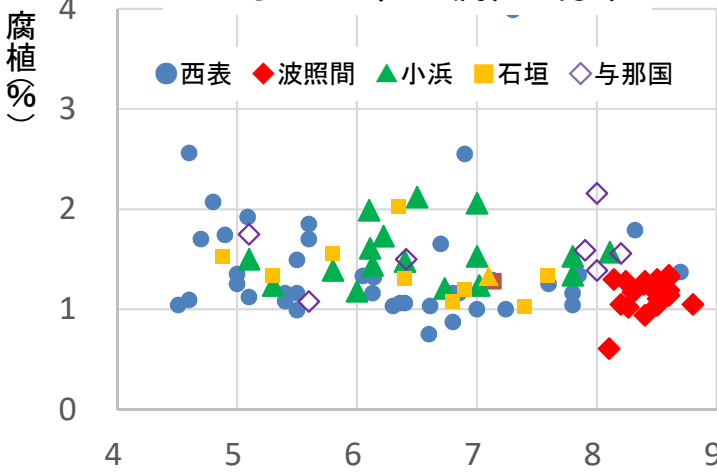
✓ 目的地までのルートを設定する

(担当: 中村)

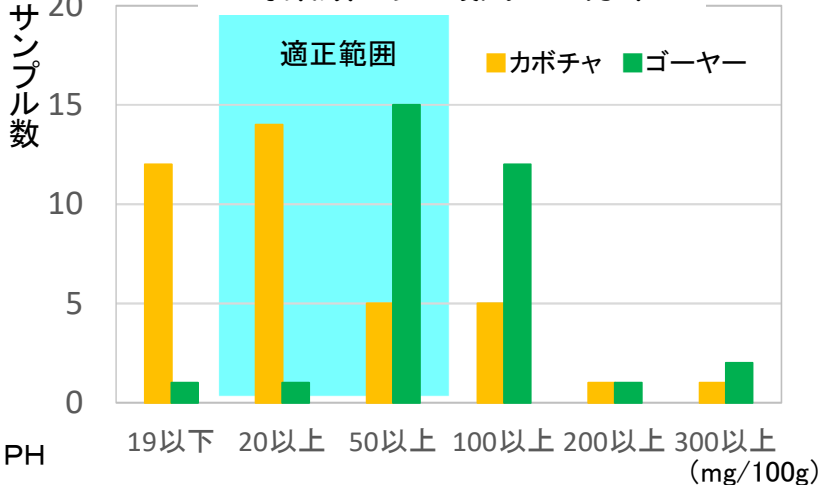
令和3年度土壌検診週間における土壌分析結果について

6月24日から始まった土壌検診週間における分析点数は、八重山地区で合計351点(石垣市206点、竹富町128点、与那国町17点)、作物別では、さとうきび99点、野菜107点、果樹110点、水稲14点、花卉5点、牧草8点、その他8点となりました。

さとうきびのpHと腐植の分布



野菜類のリン酸残量の分布



さとうきびほ場のpHは波照間島では8~9に集中しているのに対し、他の島は酸性からアルカリ性まで多様な土壌が分布しています。また野菜ほ場のリン酸含量は、露地栽培のカボチャでは20mg以下のやや不足気味のほ場が、施設栽培のゴーヤーでは100mg以上のやや蓄積傾向のほ場が見られます。各々の土壌や品目に応じた土作りを行いましょう。(担当: 長坂・山口)